

高校生の不読率（２０２４年度）

〔２０２４年調査〕

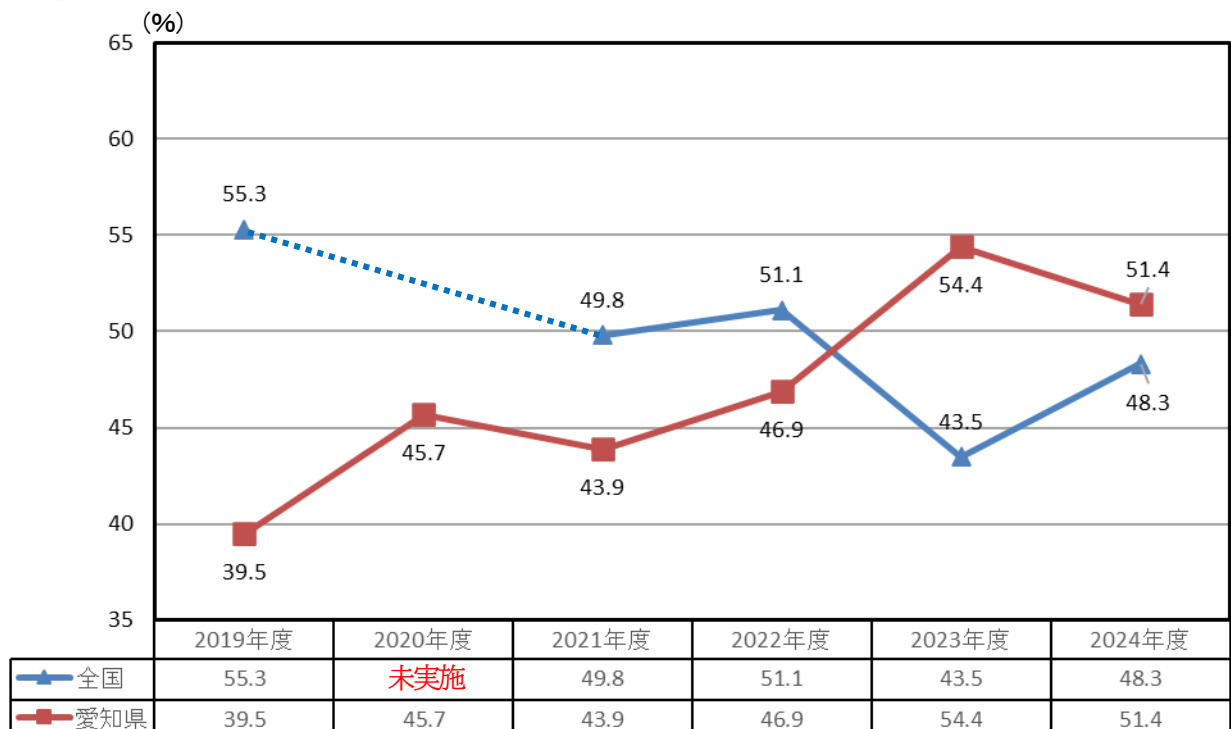
本県における子供の読書活動で取り組むべき課題の一つとして、高校生の不読率の改善が挙げられています。不読率は、１か月の間に１冊も本を読まなかった子供の割合です。愛知県教育委員会では、第四次愛知県子供読書活動推進計画（改定版）の進捗状況を把握するため、高校生（１～３年生）の不読率の調査※を毎年実施し、現状の把握に努めるとともに改善方策を検討しています。

高校生の不読率の割合は、２０２１年度から上昇傾向にありましたが、今年度は昨年度と比べ、低下しました。しかし、依然として全国の不読率の割合を上回っている状況です。

多様な生活様式の中で子供たちを取り巻く読書環境は大きく変化しています。今後はそれぞれの世代の読書状況の詳細を調査し、子供たちの生活に読書を根付かせる取組を検討してまいります。

※昨年度までは県教育委員会が無作為にサンプル校を抽出し、各学年１クラスで調査を実施していましたが、今年度から Microsoft Forms を使用して全県高校で調査を実施しました。

【全国と愛知県の比較】１か月間に本を１冊も読まなかった高校生の割合（不読率）



※全国の数値：学校読書調査（全国学校図書館協議会）

※愛知県の数値：愛知県教育委員会調査

- ２０２０年度は新型コロナウイルス感染症が拡大していたため、全国の調査は中止となりました。
- ２０２４年度、愛知県において１か月間に１冊も本を読まなかった高校生の割合（不読率）は、前年度に比べ、３．０％低下しました。
- 第四次愛知県子供読書活動推進計画（改定版）で定めた２０２５年までの高校生の不読率の目標数値は、４０％以下です。